

人生の意味に関する専門家フォーラム
ヴィクトール・フランクルの人生の功績を称える

オーストリア館-大阪・関西万博 2025、日本

オーストリア館は、卓越したオーストリアの人物への敬意を表し、精神科医、ホロコースト生存者、そしてロゴセラピーと実存分析の創始者であるヴィクトール・フランクルの功績を称えたいと存じます。彼は、人々が最終的に人生の意味を探求することを提唱しました。

その功績を称えるため、オーストリアと日本の著名な専門家たちが参加する専門家フォーラムが開催され、フランクルの「意味」「レジリエンス」「人間の尊厳」に関する持続的な思想について議論されます。

9月30日（火）午後2時30分～5時（開場：午後2時15分）
大阪・夢洲島の大阪・関西万博 2025 オーストリア館で開催されます。
入場無料、予約不要。

「行動における意味：ヴィクトール・フランクルの遺した価値観、教育、自己啓発」

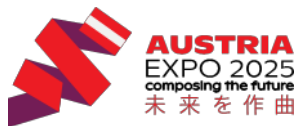
「人間の尊厳」と「意味」に根ざした未来社会をデザインする精神に基づき、このフォーラムではヴィクトール・フランクル氏の自己啓発、価値観の形成、教育への貢献を探求します。ヴィクトール・フランクル氏の故郷であるオーストリアから3名の専門家が、彼の思想がいかにして、レジリエンス（適応力）のある個人と意味のあるコミュニティを形作るための実践的な指針となることかを短い基調講演で紹介합니다。また、日本のゲストスピーカーが、ロゴセラピーが日本でどのように受け入れられ、実践的なアプローチとして活用されているかを説明します。

人間的で意味のある未来に向けたフランクル氏の視点を現代的に応用したもの。

アレクサンダー・バティアーニ氏
ヴィクトール・フランクル研究所所長（ウィーン）、実存分析・心理学教授

「意味のある未来を築くためのロゴセラピーのツール」

変化と不確実な時代において、どのようにして人間らしい未来を設計することができるのでしょうか？ この講演では、ヴィクトール・フランクルのロゴセラピーを参考



にし、混乱の真っ只中であっても、個人が責任を取り、意味を見出し、目的を持って人生を形成するための実践的なツールを紹介します。

クリストフ・シュリック氏

元ベネディクト会修道士、ザルツブルク・ロゴセラピーおよび実存分析研究所創設者

マヌエラ・シュリック氏

ウィーン大学教育者・研究者、ATEE（欧州教師教育協会）研究コーディネーター

「混乱した世界において、人々が意味、方向性、行動意欲を見出せるよう支援する」
(リモートにて参加)

持続可能な社会には内的な方向性が必要 — 個人も同様です。研究と実践を橋渡しし、個人やグループが自らの人生を自らの手に取り戻し、日常の行動と人生の重要な瞬間において意味、満足感、そして強さを見出すことを支援する経験を共有します。

福井 みどり氏

日本ロゴセラピー協会認定ロゴセラピスト、

カウンセリング心理士、高齢者ケア専門。

「日本におけるロゴセラピー」

1956年に日本語に翻訳されて以来、フランクルの『夜と霧』はベストセラーとなりました。地震や津波のような大規模な危機は、近年さらにロゴセラピーへの注目を喚起してきました。この講演では、日本においてロゴセラピーを学んだ多様な背景を持つ人々のケーススタディを紹介し、その実践的なアプローチとして、仕事の一環として活用するだけでなく、自身の私生活にも統合する方法を解説します。

この専門家フォーラムは、オーストリア・エキスポを代表して、ロゴセラピストのアストリッド・グルッヒマン＝リヒト氏が主催し進行します。